

第4分科会「被災地の原発・放射能問題」

「報告3.」福島原発事故の教訓をいかした原発再稼働反対のとりくみ

原発立地 女川町民の活動から レジメ

はじめに

2013年12月26日、東北電力は女川原発2号機の再稼働に向けて、新規規制基準適合性審査の申請を行いました。安倍政権はこの規制基準の審査を合格すれば再稼働させるとの方針で、地元自治体の同意を求めることとなります。

いまの時点では、同意を必要とする自治体は宮城県と石巻市、女川町の3自治体だけで、30キロ圏の5市町は県知事に意見を具申するだけとなっています。

そうした中で、現地女川町の中で、住民の運動がどのように取り組まれてきたのか、何が課題になっているのか、思いつくままご報告したいと思います。

お話する項目（当日はプロジェクターを使つての報告を予定）

- 1、 女川原発再稼働反対の署名活動・・・全県の支援を受けて
- 2、 風船プロジェクトや「渡されたバトン」の上映
- 3、 女川から未来を考える集いの成功
- 4、 再稼働を問う住民アンケート活動
- 5、 女川原発で何が起きているのか・・・転勤記録不備4188か所、2度の停電
- 6、 学習活動を頻繁に 福島を原点に
- 7、 東北電力の再稼働に向けた動き・・・急ピッチの対策と世論操作
- 8、 これからの課題・・・多数派形成への課題は 雇用と町の財政問題を

こうした問題意識をもって、ご報告したいと思います。

2015年11月6日

原発の危険から住民の生命と財産を守る会 事務局長 高野 博